

スキー学習支援システムについて

7N-7

安達 和年* 澁田 大介** 国見 保夫** 益田 誠也**

*東京情報大学 **玉川大学

1. はじめに、本システムの目的は、スキー学習の効率化を図ることにある。従来のスキー学習では、指導者の経験や技術に依存していたが、本システムでは、コンピュータを活用して、学習者のレベルに応じた学習プログラムを提供する。また、学習者の進捗状況を自動的に記録し、指導者に通知する機能を備えている。本システムは、スキー学習の初心者から上級者まで幅広く利用可能であり、学習者のモチベーションを高める効果がある。本システムの概要を次に示す。

2. スキー学習支援システムの概要は、学習者のレベルに応じた学習プログラムを提供することにある。本システムは、スキー学習の初心者から上級者まで幅広く利用可能であり、学習者のモチベーションを高める効果がある。本システムの概要を次に示す。

利用形態
 ・ 練習者の各ファクターを入力し、指導者や練習者に練習プランモデルを作成。

・ 練習内容の表示は、文字による運動と、動画によるデモンストラシオン。
 ・ 練習には、定着・矯正・発展の目的があり、モテ矯正や発展のための練習要に応じた作成。

構築環境
 ハイパーカード環境

3. スキー学習支援システムは、学習者のレベルに応じた学習プログラムを提供することにある。本システムは、スキー学習の初心者から上級者まで幅広く利用可能であり、学習者のモチベーションを高める効果がある。本システムの概要を次に示す。

・ 写真による運動のイメージ
 ・ 文字による運動の説明
 ・ 文字による運動のポイント

・ 運動イメージの細かい部分を強調したデモンストラシオン
 ・ 運動の変化のタイミングの指示
 ・ 用具操作の指示
 ・ 現在表示のメディアでは総合的であるが、これをマルチメディアで行うことは困難な範囲を考慮し、このシステムを構築するためには、各技術毎に次のような教授方法を実現し、足らぬ動きや荷重移動だけを強調して見せ、運動イメージの強調

・ 運動変化のタイミングの指示
 ・ スキー用語の解説
 ・ パワーワード環境で実現した。これらのは、機能を選択する。ある。ここで、どの技術を見たいかを技術の説明がカテゴリーの表示ボタンを押す。

The Supporting tools for ski instruction system
 Kazutosi ADACHI, Daisuke FUCHIDA, Yasuo KUNIMI, Seiya MASUDA
 *Toyko Univ. of Information Science, **Tamagawa Univ.

